

第1回 東京～山梨・長野 交通強靱化プロジェクト 議事概要

1. 日時

令和2年1月30日（木） 16:00～17:15

2. 出席者

国土交通省関東地方整備局 道路部長	山本 悟司
国土交通省関東運輸局 鉄道部長	黒川 和浩
中日本高速道路（株）八王子支社保全・サービス事業部長	和久田 明
東日本旅客鉄道（株）八王子支社企画部長	筑井 裕之
東京都 都市整備局都市基盤部長	山下 幸俊
神奈川県 県土整備局技監兼道路部長	大島 伸生
長野県 企画振興部長	伊藤 一紀（代理）
長野県 建設部長	長谷川 朋弘（代理）
相模原市 都市建設局長	田雑 隆昌
山梨県 リニア交通局長	三井 孝夫
山梨県 県土整備部長	丹澤 彦一

3. 議事

- (1) 東京～山梨・長野の交通の現状
- (2) 台風19号による通行止めの状況、被災原因等
- (3) 被災による各都県市の沿線地域への影響
- (4) 強靱化に向けた課題整理

4. 議事概要

■議事から整理された課題等

- ・東京～山梨・長野間は人流物流面で重要であり、並走する3路線は大動脈である。
- ・都県境地域を中心に脆弱区間が集中し、被災が多く発生。
- ・長期間にわたる交通寸断は都県市民生活や、物流、医療、観光面など経済活動に大きな影響があった。
- ・迂回路となった国道138号や国道412号では深刻な交通渋滞が発生した。
- ・周辺道路の渋滞により、被災状況の把握に時間を要した。
- ・ハード対策では災害時にも寸断しない交通ネットワークの強靱化が必要である。
- ・ソフト対策では早期復旧、被害を最小化する交通マネジメントの強化が必要である。
- ・このプロジェクトにおいて上記2つの課題を実現するには関係機関による連携した推進が必要である。

以上